

# 新型コロナウイルス感染症に関する 差別や偏見をなくそう!

新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行で、私たちの生活は大きく変わってきました。次々と新たな変異株が出現し、感染拡大防止や経済対策など様々な対策がとられていますが、あわせて差別や偏見をなくす取り組みも必要とされています。

私たち一人一人も、自分の言葉や行動が差別や偏見につながっていないか、「誰かのことではなく「自分のこと」として、改めて考えてみましょう。

チェックして  
みよう!



人権イメージキャラクター 人KENまもる君

人KENあゆみちゃん

- 1 新型コロナに感染したら、自分や家族が差別や偏見の対象になってしまうことが不安だ。



- 2 近所の人が感染したという噂を聞き、名前や住所、勤め先を知り合いに知らせた。



- 3 友人が勤める会社でクラスターが発生したことをSNSで知り、その友人が陽性者と接触がなくても関わりをもちたくない。



- 4 県外ナンバーの車を見かけると、つい敵対視してしまう。



- 5 新型コロナをうつされそなので、咳をしている人には近寄りたくない。



- 6 マスクをしていない子どもは、自分の子どもと遊ばせたくない。



- 7 新型コロナ感染症患者やその家族は、回復しても職場に復帰してほしくない。



- 8 ワクチン接種を受けていない人は、非難されてもしかたがない。

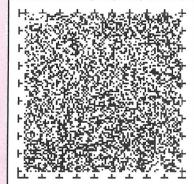


- 9 新型コロナ感染症患者の治療にあたった医療従事者やその家族には、他の人たちと接触しないよう外出を控えてもらいたい。



チェックがついた項目はありましたか？ 詳しくは裏面をご覧ください。

音声コード



吉野川市市民部 人権課 TEL22-2229 FAX22-2260  
徳島地域人権啓発活動ネットワーク協議会

新型コロナに関する差別や偏見が広がることは、感染を疑われる症状が出ても、病院への受診をためらったり、感染経路を隠したりするなど、感染を拡大させてしまうことにもつながりかねません。県は「徳島県新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止に関する条例」を施行し、新型コロナへの感染などを理由に不当な差別的取扱いや誹謗中傷をしないよう求めています。感染した人を責める風潮をなくし、みんなで支え合える社会にしていきましょう。

新型コロナは、予防していても誰もが感染する可能性があるものです。そして、感染された方は、とても苦しく不安な日々を送ることになります。興味本位で個人情報を拡散するのではなく、誰もが安心して過ごせる日常生活を早く取り戻せるよう、一人一人が冷静に判断し行動しましょう。

徳島県内でも大学でクラスターが発生したことにより、同じ大学に通っている学生がアルバイト先から出勤を拒否されたり、飲食店への入店を断られたりする問題が発生しました。また、クラスターが発生した学校や施設への誹謗中傷なども全国的に相次いでいます。今なお不安に包まれやすい状況が続いますが、人を責めたり、人との関わりを過度に避けたりするのではなく、こんな時だからこそ自分も相手も大切にし、一人一人の人権を大切にしていきましょう。

新型コロナへの忌避意識から、県外ナンバーの車に乗っている人に対して差別的な言動や嫌がらせを行うことは決してあってはなりません。県内の方、県外の方問わず、みんな感染拡大を食い止めたい気持ちは同じです。互いに思いやりを持って、新型コロナを封じ込めていきましょう。

咳が出る時は、アレルギーや風邪など様々な場合を考えられ、決して新型コロナだけの症状ではありません。無用に人を不快な気持ちにさせる言動は慎み、各自が手洗いや消毒、咳エチケットなど、日常の予防対策をしっかりと行いましょう。

まだ十分な判断力が育っていない子どもに対して、「あの子には近寄らないように」と言い聞かせることは、いじめを助長し、人を排除していく子どもに育つ可能性があります。また、子どものみならず、大人でも感覚過敏によりマスク等の着用ができない人もいます。マスクを着用していない人を見かけたときには、「何か事情があるのかも知れない」と相手の状況を想像してみましょう。

新型コロナに感染した人は、いわれのない噂にさらされる恐怖や、自身の感染対策に対する罪悪感から、復職に不安を感じています。また、治療や療養が終わっても、後遺症によって様々なサポートが必要となったり、精神的に追い詰められて出社できなくなったりしてしまうこともあります。感染者や濃厚接触者だったからといって特別には考えずこれまでと同じように接すること、また、不安を相談できる体制づくりが復帰への精神的なサポートになります。

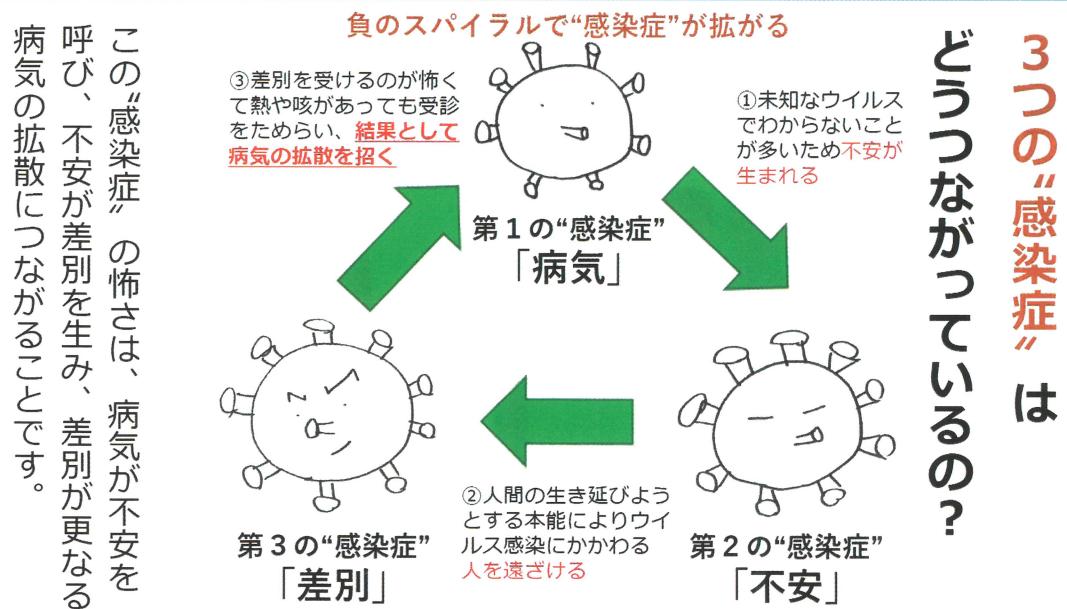
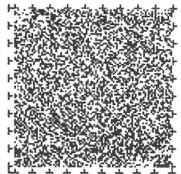
ワクチン接種は強制されるものではありません。接種を受けていない人には、病気やアレルギーにより接種ができないなど様々な理由があり、その一つ一つが尊重されるべきものです。接種を受けていない人に対して、接種の強制や学校・職場等における不公平や不利益な扱いが起こらないよう、慎重に対応していきましょう。

新型コロナの治療等にあたる医療従事者は、医療現場の最前線に立って日夜ウイルスと対峙し、私たちの命と健康を守ってくれています。その事実をしっかりと受け止め、心より感謝するとともにみんなで応援していきましょう。また、宅配事業者などへの差別的な言動や心ない対応も大きな問題となっていますが、私たちの生活を支えるために働いてくれている人たちへの感謝と思いやりの気持ちを忘れてはいけません。正しい知識と情報をもとに行動し、新型コロナから自分や家族、周りの人たちを守ることにつなげていきましょう。

新型コロナウイルスには、「3つの“感染症”という顔がある」と言われています。そして、3つの“感染症”（「病気」「不安」「差別」）はつながって、私たちの生活に影響を及ぼしています。

「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」▶  
(日本赤十字社)より

音声コード



第3の“感染症”的差別的取扱いや言動は人権問題であり、決して許されるものではありません。根拠のない情報に惑わされ不安に陥ることのないよう、国や県、市が発信する情報に基づき冷静な対応を心がけ、この負のスパイラルを断ち切っていきましょう。